

御調高等学校 第3学年 外国語(英語) 科単元指導計画

- 1 単元名 Lesson 4 Online Word of Mouth (*BIG DIPPER English Communication III* 数研出版)
- 2 単元の目標
 - ・台湾の姉妹校からの留学生に対して、日本、広島、御調等について間違えることを恐れず、積極的にプレゼンテーションを行う。
 - ・前回のプレゼンテーション後の振り返りから得た改善点を活かし、内容や伝え方を改善して、プレゼンテーションを行う。

3 単元の計画 (全9時間)

時	主な学習活動
1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を理解するために必要な語彙を習得する。 ・Online Word of Mouth で紹介されている3つの飲食店の情報を正確に読み取る。 ・Midori, Ricardo, Kate の要望を満たしている飲食店はどれか指摘し、根拠を明らかにする。
4～7	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の紹介文と比較して、自分が留学生にプレゼンテーションを行う際、含めるべき内容は何かを考える。また、留学生が興味を持って聴いてくれるプレゼンテーションはどんなものかをグループで考える。 ・プレゼンテーションの方法例の1つである、紙芝居プレゼンテーションの方法を学ぶ。 ・Steve Jobs, Kelly McGonigal のスピーチを聴き、参考となる点をワークシートにメモする。 ・各グループでプレゼンテーションの準備を行う。
8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ10分で4人の留学生に対してプレゼンテーションを行う。 ・2分間で、留学生とプレゼンテーションを聴いた生徒は評価とコメントを評価シートに記入する。 ・各グループで評価シートを読み、改善点をまとめる。 ・プレゼンテーションの内容や方法のどこを、どのように変更すれば留学生に伝わるものになるかを考え、プレゼンテーションに変更を加える点を検討する。
9 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ10分で4人の留学生(前回とはメンバーは異なる)に対してプレゼンテーションを行う。 ・2分間で、留学生とプレゼンテーションを聴いた生徒は評価とコメントを評価シートに記入する。 ・各グループで評価シートを読み、振り返りを行う。

4 本時の目標

- ・前回のプレゼンテーション後の振り返りから得た改善点を基に、内容や伝え方を改善し、聴き手の反応や伝えようとする気持ちに応じた適切な速度や声の大きさをプレゼンテーションを行う。(外国語表現の能力)

5 学習の流れ (8・9時間目/全9時間)

学習活動 (○発問、●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項(◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 各グループ1回目のプレゼンテーションを留学生(4名)に対して行う。 2 プレゼンテーションを聴いて、評価シートに記入する。 3 各グループで留学生や他のグループの生徒からの評価とコメントを共有する。 ○留学生がもっと理解しやすいプレゼンテーションにするには何をどのようにすることが必要だろう。 ●話す速さが大切です。 ●声をもっと大きくして話す必要がある。 ●話す内容をより簡潔にする。 4 留学生の代表からアドバイスをもらう。 5 2回目のプレゼンテーションを別の留学生(4名)に対して行う。 6 振り返りを行う。	◇ プレゼンテーション後に、留学生と発表者以外の生徒は、評価シートの項目ごとの点数とコメントと良い点と改善点を記入するよう伝える。 ◆英語での記入が難しい場合は日本語で書いてもよいことを伝える。 ◇評価シートを各グループで読み合い、良い点と改善点をワークシートにまとめ、具体的に話す内容や話し方、資料のどこを改善するか決定する。 ◆留学生のアドバイスについてわからない点がある生徒には個別に指導する。 ◇2回目のプレゼンテーションでは、評価や振り返りに基づいて、改善して行うよう伝える。 ◇留学生からアドバイスをもらい、各グループで振り返りを行う。	(1回目のプレゼンテーション) 間違えることを恐れず、積極的にプレゼンテーションを行う。〔コミュニケーションへの関心・意欲・態度〕(発表) (2回目のプレゼンテーション) 聴き手の反応や伝えようとする気持ちに応じた適切な速度や声の大きさをプレゼンテーションを行う。〔外国語表現の能力〕(発表)

